



Kasugaoka J.H.S

明日への扉

アスヘノトビラ

令和元年7月号

京都市立春日丘中学校

道徳通信

学校教育目標

『確かな自立・志ある貢献』

じめじめと暑い日が続いています。今年は例年より梅雨明けが遅いですが、もう間もなく梅雨が明け、本格的な夏がやってきそうです。さて、先日の道徳で1学期の道徳の授業について振り返りをしました。“1学期、何の授業したか覚えている？”とみんなに聞くと“〇〇の話やったやん！”“スポーツ選手の〇〇さんの話！”と言う声がたくさん聞こえてきて、とても嬉しかったです。そのあとに書いてもらった振り返りを読んでいると、生徒のみなさん一人ひとりが自分の授業についてしっかり受け止め、振り返れていることがわかりました。それぞれ印象に残った授業は違うと思いますが、この1学期に授業を通じて感じ、考えたことが少しでもみなさん的心に残っていたら嬉しいです。道徳の授業で感じたことを大切にして、これからの学校生活、そして日々の生活に少しでも生かしてください！

33日間という長い夏休みが、みなさんにとて有意義なものとなりますように。



--*-*-*-*授業の様子を紹介します*-*-*-*-*



“みんなに合わせる友情”



6月末にケータイ教室が行われました。外部の講師の方に来ていただき、実際のスマホトラブルについてお話ししていただきました。それを受け、道徳の授業では、あるクラスのSNSでのやりとりを通して“本当の友達・友情”について考えてもらいました。コジマくんの立場になって、「トラブルになったら次はどうしたらいいのだろう?」「こういう場合はどうすべきなのか?」を自分に置き換えて考えることができたでしょうか。“スマホに関するトラブル”という身近な話題だけに、持っている人も持っていない人も、この授業で感じたことを忘れず、これからより一層緊張感をもって、上手に使ってほしいと思います。

《ワークシートより（授業の感想）》

- ・SNSのある時代だから深く考えることができたし、もし起きたときにどう対処するかも考えることができた。
- ・グループラインなど実際にありえる話で、このようになってしまったらいけないことや、もしまった場合などみんなで考えることができた。
- ・みんなに合わせることは必要だけど、良いことと悪いことがあるということがわかった。そんなことをするのはもう友達ではないし、そんな友情もおかしいと思う。とても身近なスマホの話だったので、自分にあてはめて考えることができた。
- ・スマホの話は共感する部分がたくさんあったし、自分に置き換えて考えることができた。ちょっとした発言でも捉え方によって相手が傷つくことがわかったし、これから考えて送ろうと思う。
- ・便利な反面、そのような問題が起きていることを知り、どうように対応したらいいかをよく考えることができた。



『君とみた海』

先日、合唱コンクールの選択曲と学年合唱の曲が決定しました。今年の2年生の学年合唱曲は『君とみた海』。歌詞を見ながらじっくり聴いたのは初めてでした。この曲の作詞者はどんな思いを伝えたいのか、どんな情景を思い浮かべてこの曲を書いたのか、考えました。思いは人それぞれ。では、どのようにこの曲を歌えば、作詞者の思いが相手に伝わるのか、2年生として『君とみた海』にどう取り組めばよいのか、しっかり考えられました。クラス合唱だけでなく、学年合唱も一生懸命取り組み、みなさんの素晴らしい合唱が聴けるのを楽しみにしています。



『ワークシートより（授業の感想）』

- ・歌うときに歌詞の情景を頭の中でイメージすると気持ちのこもった、聴いている人にこの曲のメッセージが届く、いい合唱にできると思う。人それぞれ解釈のしかたは違うけれど、聴いている人に伝えたいという思いで歌おうと思う。
- ・1つの歌でもこんなに感じ方が違うのだと思った。歌を作った人もだれかのことを思いながら作ったと思うので、それを歌う私たちもだれかを思い浮かべながら歌いたい。
- ・この学校、この学年のことを良いと思えるように、大切な思い出を春日丘中学校に残せるように、気持ちを込めて歌おうと思う。
- ・今は悲しいことや苦しいことがあっても、最後には良い思い出になるように、というところが共感できた。



“背番号15が歩んだ道”



2016年に広島東洋カープをリーグ優勝へと導き、電撃引退した黒田博樹選手。彼はファンからもっとも愛されたプロ野球選手の一人です。大学時代、なかなか芽が出なくても野球に打ち込む彼に声をかけたのが、カープのスカウトでした。やがて彼はメジャーリーグで活躍する選手になり、再び日本・カープへ帰ってきます。「カープファンの声援があると、自分のどこからか力がわいて、選手としてさらに成長できると思いました。」彼の言葉には、いつもファンへの感謝と深い愛情がありました。みなさんにも、きっと努力を助け、支えてくれている人がいるはずです。たまには恥ずかしさを乗り越えて、感謝の気持ちを伝えてみませんか？

『ワークシートより（授業の感想）』

- ・家族へ …いつも文句を言っているけど塾に車で送ってくれたり、ご飯を作ってくれたり、いつも支えてくれてありがとう。
- ・家族へ …いつもありがとう。反抗する僕をいつまでも愛してくれてありがとう。
- ・お母さんへ…いつも迷惑かけてばかりで、よくけんかしてすれ違うことが多いし、あまり自分に素直になれない。自分たちのためにがんばって働いてくれているお母さんに、もっと感謝したい。
- ・クラスのみんなへ…元気と明るさに何度も助けられている。ありがとう。
- ・家族へ… 時にはうざいと思うときがあるけど、家族がいないと僕たちは何もできないと思った。人は、まったく知らない人にも支えられていると考えた。